

千葉公園再整備
マスター・プラン

2019.8

もくじ

01 千葉公園再整備マスタープランとは

02 市民の声

05 千葉公園再整備の基本方針

06 千葉公園のあるべき姿

07 千葉公園のめざす将来像

08 再整備の方向性

09 再整備の方向性

10 ゾーニング

11 ゾーニング図

12 再整備マスタープランの整備イメージ図

13 再整備の具体的な取組み

14 緑と水辺に囲まれた心地よい公園

19 一日、一年を通して賑わいや交流を生む公園

25 まちとつながる公園

32 みんながつくり育てる公園

35 再整備の進行イメージ

千葉公園再整備マスタープランとは

千葉公園は、1946 年に市内初の総合公園として都市計画決定され、以降、野球場や陸上競技場（競輪場）をはじめ、体育館やプールなどのスポーツ施設のほか、ボート池や展望台、茶室等が整備され、20 年ほどかけて、ほぼ現在の形の公園となりました。その後 50 年以上の歳月の中で、樹木は大きく育ち、時代のニーズに応じ新たな機能が導入されながら、市民に親しまれる公園として育まれてきました。

千葉公園再整備マスタープランは、千葉公園のさらなる魅力向上や周辺地域の活性化を図るため、（仮称）千葉公園ドームや（仮称）千葉公園体育館の区域も含めた、千葉公園全体の将来像や整備の方向性を示すものとして策定したものです。

策定にあたっては、「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」や「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」で示されている千葉駅周辺の活性化に向けた方向性を踏まえ、整合・連携を図りながら、検討しました。

さらに、千葉公園は千葉駅北エリアのまちづくりの核となる施設であることから、公園区域のみならず、周辺施設との回遊性の向上策等も含め、方向性を示しています。



市民 の声

千葉公園および周辺の街並みに望む、機能や施設等について、
市民の声を集めました。

平成 30 年 9 月～ 10 月に実施した市民への Web 調査、公園利用者への現地聞き取りアンケート、ボランティア団体へのアンケート結果より
平成 31 年 4 月～ 5 月に実施した市民意見募集「千葉公園再整備の方向性について」に寄せられた意見より

市民の声

ゆっくり過ごせる休憩施設がほしい
お茶しながらゆっくり休憩したい
豊かな自然を残してほしい
いろんな場所にベンチがあると便利
雨の日でも休憩できる場所がほしい
木陰にベンチがほしい

憩い・いやし空間の充実

遊具が充実するといいな
スポーツ施設や健康増進施設の充実
芝生広場など広い空間があるといいな
公園内に売店やカフェ等の営業でぎわいがほしい
ドッグランがほしい

遊具やカフェなど施設の充実

お花見できるところが良い
オオガハスが魅力
花や緑、野鳥など、自然とふれあえる環境をこれからも残してほしい
四季折々の花や緑が楽しみたい
東門など、公園入口が暗い印象明るいエントランスになるといいな
綿打池の水質を改善してほしい

花や緑の充実と自然環境の維持

古くなった施設を改修してほしい
段差を小さくしたりスロープにしてほしい
駐車場・駐輪場を増やしてほしい
多言語対応の案内サインや樹名板、歴史の解説サインがあるといいな
ベビーベッド・授乳室がほしい
明るいトイレにしてほしい

分かりやすく、快適に利便性向上

市民の声

ボランティアスタッフなど
管理運営の拠点施設の整備

年間通して、イベントが開催されるといいと思う
公園に訪れるきっかけになるんじゃないかな

公園の魅力やイベントなど、広報・PR活動を
積極的におこなって、知名度アップしてほしい

若い世代も公園の管理に関わってもらいたい

将来にわたりみんなで維持管理
していくような仕組みが必要

積極的に人を呼び込む管理運営

公園内の照明を増やして
夜間も安心して歩けるといいな

避難場所の案内、防災用具の情報共有など
広域避難場所として分かりやすくしてほしい

地域住民の平穏な暮らしを
決して侵さないでほしい

夜間・災害時の安心・安全

夜間も安心して歩けるように
街灯が増えるといいな

お弁当が買えるお店が増えるといいな

飲食店や商店が充実すると
街が活性化すると思う
レンタサイクルが増えて、
自転車通行環境が良くなるといいな

駅から公園までの道が分かりやすくなるといいな

ウォーキングルートやマップ付きの
リーフレットがあると、街歩きしやすい

お洒落なカフェやランチできるお店が
増えてにぎやかになるといいな

公園周辺の散策しやすい工夫

千葉公園再整備の基本方針

千葉公園のあるべき姿

千葉公園は、豊かな緑や水辺があり、起伏に富んだ地形、歴史的な遺構など、様々な魅力・個性を持っています。都市化が進む地域において、長年育まれてきた緑豊かな環境が、市民の憩いの場として重要な役割を担ってきました。

現在、千葉駅周辺では再開発事業など、新たなまちづくりが展開されるとともに、(仮称) 千葉公園ドームや (仮称) 千葉公園体育館の整備が進められるなど、まち全体の魅力を高めようという機運が盛り上がっています。その動きに合わせて、千葉公園においても、千葉駅北エリアのリノベーションの核として、時代にあった新たな魅力を導入し、さらなる賑わいや交流を生み出す公園として生まれ変わることが求められています。

そこで、これから千葉公園のあるべき姿を次のように掲げます。

人が集まり まちを育てる 都心のオアシス

憩いと安らぎ 躍動と賑わい ふれあいと交流が生まれ

これまでに経験したことのない 新たなシーンに出会える そんな良質な都市空間へ

千葉公園のめざす将来像

千葉公園のあるべき姿の実現に向けて、
千葉公園の再整備後の将来像を、次のように設定します。

緑と水辺に囲まれた心地よい公園

憩い

空に向かって大きく枝葉を広げた既存樹木を活かし、木漏れ日が
感じられるような心地よい緑や広場、池のほとりでくつろげる水辺がある、
都心のオアシスとなる公園とします。

一日、一年を通して賑わいや交流を生む公園

賑わい

千葉駅から近い立地と豊かなオープンスペースを活かした
魅力のある施設やイベントなどのコンテンツを充実させ、
市内外から人を呼び込み、年間を通じて賑わう公園とします。

まちとつながる公園

地域の
回遊性
・連携

千葉駅北エリアの回遊性や周辺施設との連携を促し、
地域の魅力を高め、まちづくりの核となる公園とします。

みんながつくり育てる公園

管理
運営

多様な主体が継続的に公園をマネジメントできる体制をめざし、
市民にとって愛着と誇りを持つことができる公園とします。

再整備の方向性

再整備の方向性

千葉公園のめざす将来像を実現するために、
次の方向性に沿って、公園の再整備を進めていきます。

憩い

緑と水辺に囲まれた心地よい公園

- › 都心の中の心地よい憩いの空間へと再生します
- › 高台から見渡せる風景など、景色が楽しめる公園にします
- › 都心の貴重な水辺『綿打池』を生かした公園にします
- › 一年を通して『オオガハス』とふれあい楽しめる公園にします

賑わい

一日、一年を通して賑わいや交流を生む公園

- › 訪れたくなる施設やイベントの開催など、賑わいを感じられる公園にします
- › 日常的なスポーツや遊びの中で、交流が生まれる公園にします
- › 時間で魅力が変化し、多様な使い方や楽しみ方ができる公園にします

地域の
回遊性
・連携

まちとつながる公園

- › 中央図書館・生涯学習センター(以下、中央図書館)と公園が相互に使いやすくなるよう、アプローチを改善します
- › 千葉駅北口や周辺地域との回遊性を高めます
- › 地域の安全・安心を支える公園として、防災力を高めます

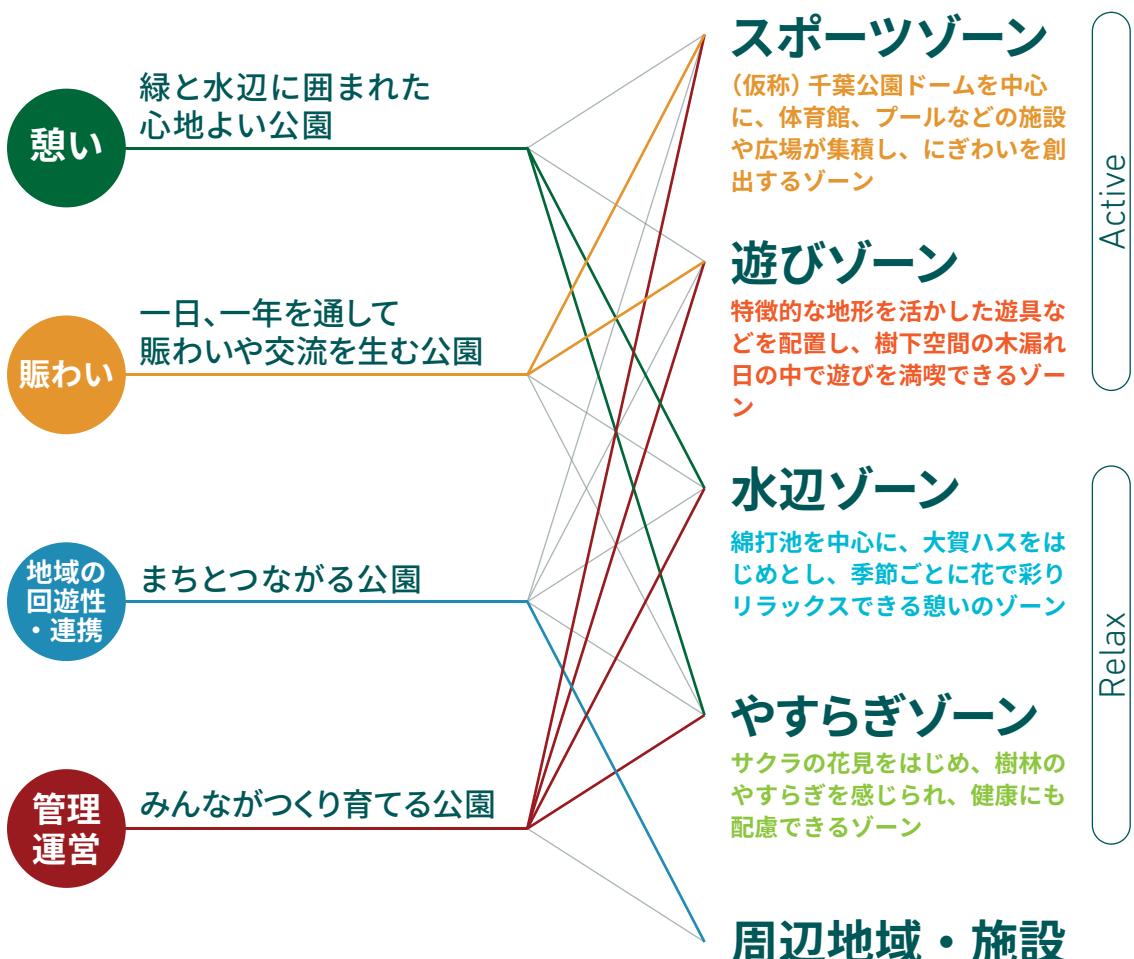
管理
運営

みんながつくり育てる公園

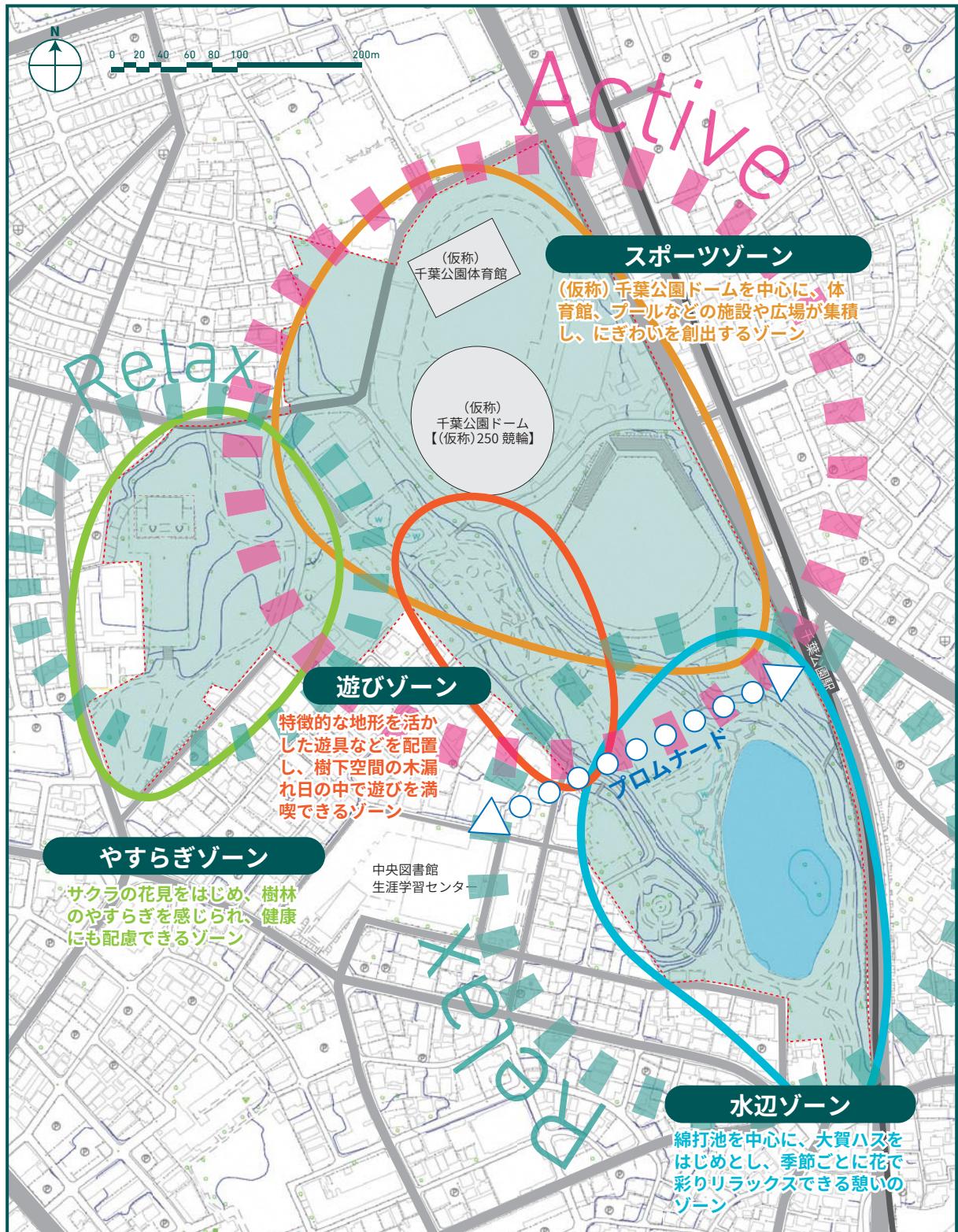
- › 市民、企業、行政が連携、協働して、公園や地域の魅力アップに取り組みます
- › 施設の整備や公園の管理運営に、民間事業者の資金やノウハウを活用します
- › 新しい発想による、より公園を柔軟に使いこなすための取り組みを進めます

ゾーニング

千葉公園のめざす将来像を地形や環境、
利用形態の違う4つのゾーンに展開していきます。



ゾーニング図



再整備マスタープランの整備イメージ図



再整備の具体的な取組み

千葉公園のめざす将来像の実現に向けた具体的な取組みについて、
将来像ごとに記しました。

緑と水辺に囲まれた心地よい公園

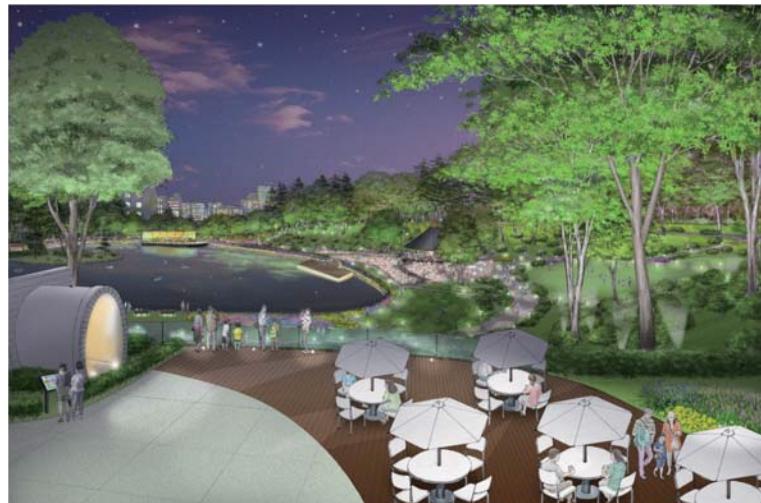
憩い



憩い

ビューポイントの整備

起伏のある地形を生かした眺望を楽しめるように、東口の高台や荒木山から綿打池やオオガハスが見渡せるビューポイントを整備します。



東口の高台から綿打池を望む



荒木山からの眺望

樹木環境の再生

大きく育った樹木は、都市部の貴重な緑である一方、公園内が一部暗く、見通しのきかない空間になっているとともに、サクラの木の多くは老齢化が進んでいます。

- ・大きな樹冠を持つ樹木は、ランドマークとなるシンボルツリーとして生かしていきます。
- ・混みあつた樹林は、間引きにより木漏れ日が心地よく感じられる緑へ再生します。
- ・サクラは美しい花を楽しめるように、育成管理の充実や更新を行います。



公園内の大きく成長した樹木



写り込む樹木(イメージ)

四季の彩りを演出

サクラやオオガハス、秋の紅葉など、既存の自然を最大限に活用するとともに、エントランスや園路周辺に花壇を整備し、四季を通じて散策が楽しくなるよう演出します。



四季を彩る千葉公園の植栽

休憩スペースの改善

老朽化したベンチ、パーゴラ等の施設を見直し、綿打池
周り等のロケーションを生かした、お気に入りの場所でゆっ
くり過ごせる休憩スペースを整備します。



くつろげるベンチ(イメージ)



池に面した飲食スペース(イメージ)

綿打池の安全性と親水性の向上

公園に憩いと安らぎの空間をもたらす、大きな資源である綿打池について、護岸を整備し、安全性と親水性を向上させるとともに、水質の改善を図ります。



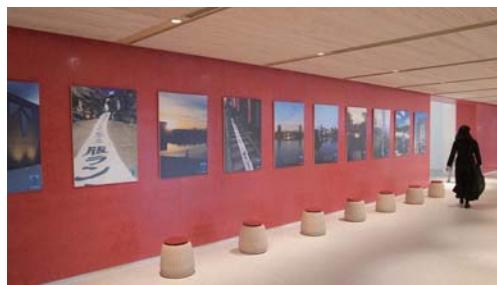
綿打池の水際



親水空間(イメージ)

オオガハスの拠点施設の充実

千葉市の都市アイデンティティのひとつであるオオガハスの拠点公園として、オオガハスの花期以外でも、オオガハスに「ふれあい」「親しみ」「学ぶ」ことができるよう、拠点施設（蓮華亭）の展示や資料を充実させます。



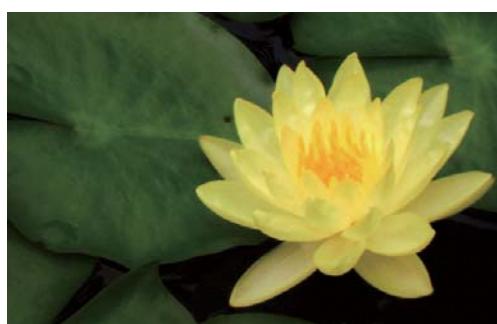
展示スペース(イメージ)

オオガハス開花期に、多くの人が安全に楽しめるよう、蓮池周辺の園路を拡幅します。



オオガハス開花時の蓮池周辺の園路

オオガハスだけではなく、様々なハスの花を楽しめるよう、開花期の異なるハスを取り入れ、拠点公園にふさわしいハスの名所にしていきます。



開花期の異なるハス(イメージ)

一日、一年を通して 賑わいや交流を生む公園

賑わい



賑わいをつくる広場空間 賑わい

野球場は機能を転換し、ラジオ体操などの日常的な利用、家族でのピクニック、ひとりで静かに読書のほか、野外シネマイント・ジャズフェスなど、新たな賑わいを創出する、多目的利用が可能な芝生広場等を整備します。



現多目的広場を広々とした芝生の広場に



賑わいをつくる芝生広場(イメージ)



多様なイベントに対応する芝生広場(イメージ)

遊びや運動・スポーツの充実

木漏れ日の中で、思いっきり遊びを満喫でき、思い思いに体を動かせる場所を整備します。

- ・起伏に富んだ地形を生かした大型すべり台等のわくわくする遊具を整備します。
- ・健康づくりのための健康遊具やウォーキング・ランニングコースを整備します。
- ・(仮称)千葉公園ドームや(仮称)千葉公園体育館と連携したストリートスポーツができる場をつくります。



地形を生かした遊具(イメージ)



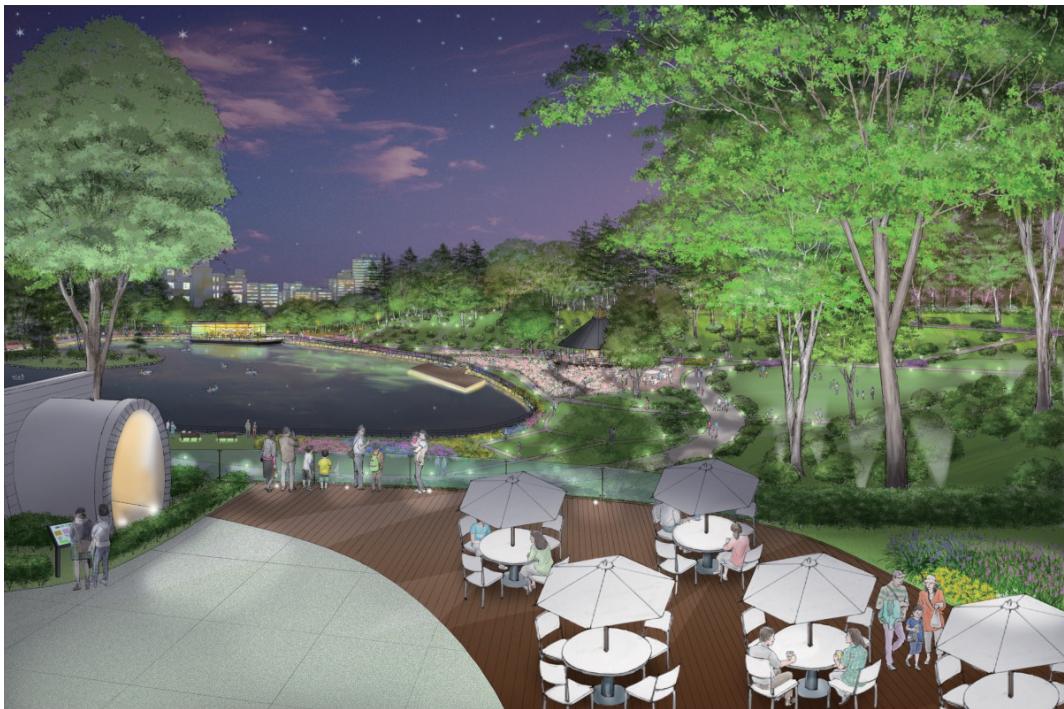
健康づくりのための健康遊具(イメージ)

夜も魅力的な公園

賑わい

綿打池や木々のライトアップ、夜のイベント等、
夕方から夜にかけての魅力を高め、時間を共有した
くなる演出を行います。

- ・安心して夜間利用ができる照明を整備します。



水辺ゾーンを望む夜の風景



安心して利用できる夜間(イメージ)



池を利用したライトアップ(イメージ)

プールの改築

千葉公園プールは、千葉市で唯一の50m公認プールであることから、大規模な改築を行います。



現状のプール

駐車場の整備

既存の駐車場や新体育館の駐車場のほか、新たに公園駐車場を整備します。

- ・新たな公園駐車場は、主要施設の近くに分散して配置します。



現状の駐車場

トイレの整備

古くなったトイレをバリアフリーで清潔なトイレ
に改築します。



現状のトイレ



おもてなしを感じられるトイレ(イメージ)

まちとつながる公園

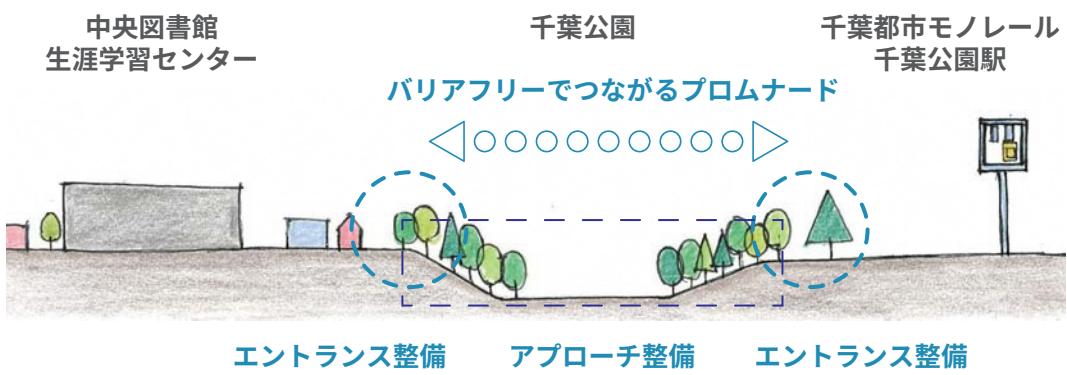
地域の
回遊性
・連携



地域の
回遊性
・連携

図書館とつながるプロムナード

中央図書館と千葉公園、モノレール千葉公園駅までバリアフリーでつなげるエントランス及びアプローチを整備します。



千葉公園周辺の断面イメージ



プロムナード(イメージ)



景観に配慮したブリッジ(イメージ)

地域の
回遊性
・連携

エントランスの魅力アップ

「公園の顔」として、主なエントランスの樹木を適度に整理し、花で彩られた明るく開放的な空間に改善します。



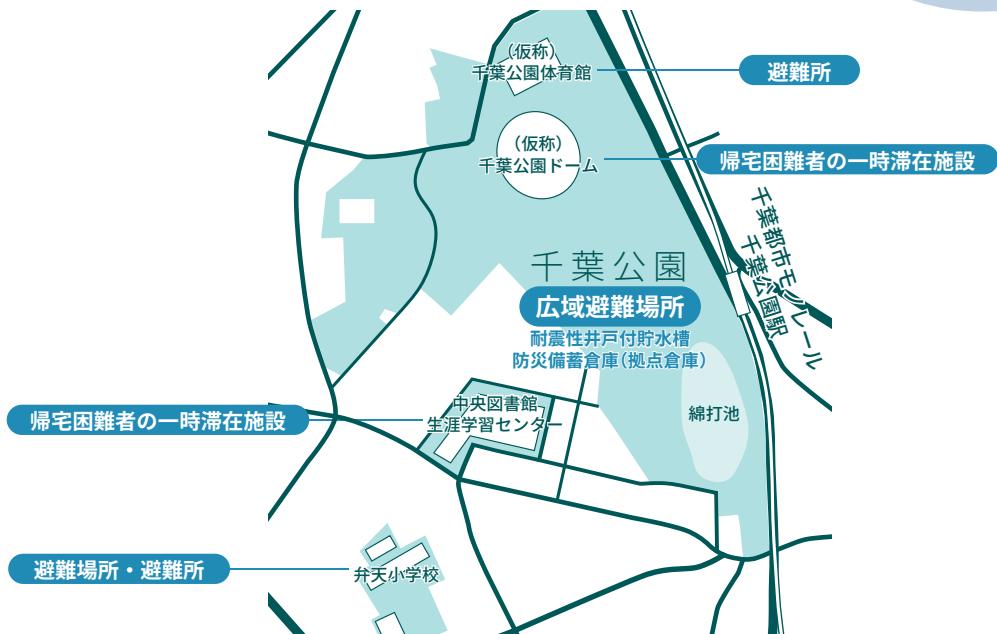
改善した南口（イメージ）



現状の南口

地域の防災力向上

広域避難場所として、災害時には多くの避難者を受け入れられる広場や逃げ込みやすいルートを整備します。



マンホールトイレ（イメージ）



災害対応パーゴラ（イメージ）

地域の
回遊性
・連携

遺構の保全・活用

この地域の歴史を伝える資源として、旧陸軍鉄道第一連隊の演習場として使われていた面影を残す遺構を保全・活用していきます。



トンネル工事訓練跡



架橋演習の橋脚跡

図書館との連携

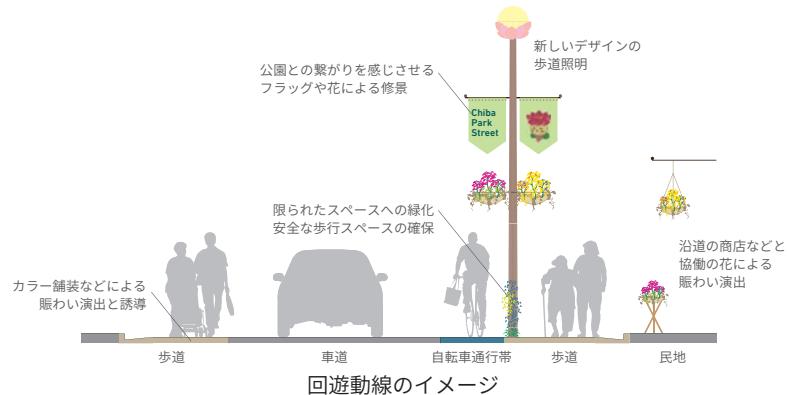
- 空間的につながるとともに機能的にも連携していきます。
- 不用図書の無償配布会、絵本のお話会などのイベントの開催のほか、出張図書コーナー等で借りた本を、広場や休憩デッキ、緑陰空間、カフェなど、園内の好きな空間で読書できるようにします。



出張図書コーナー(イメージ)

地域の回遊性向上

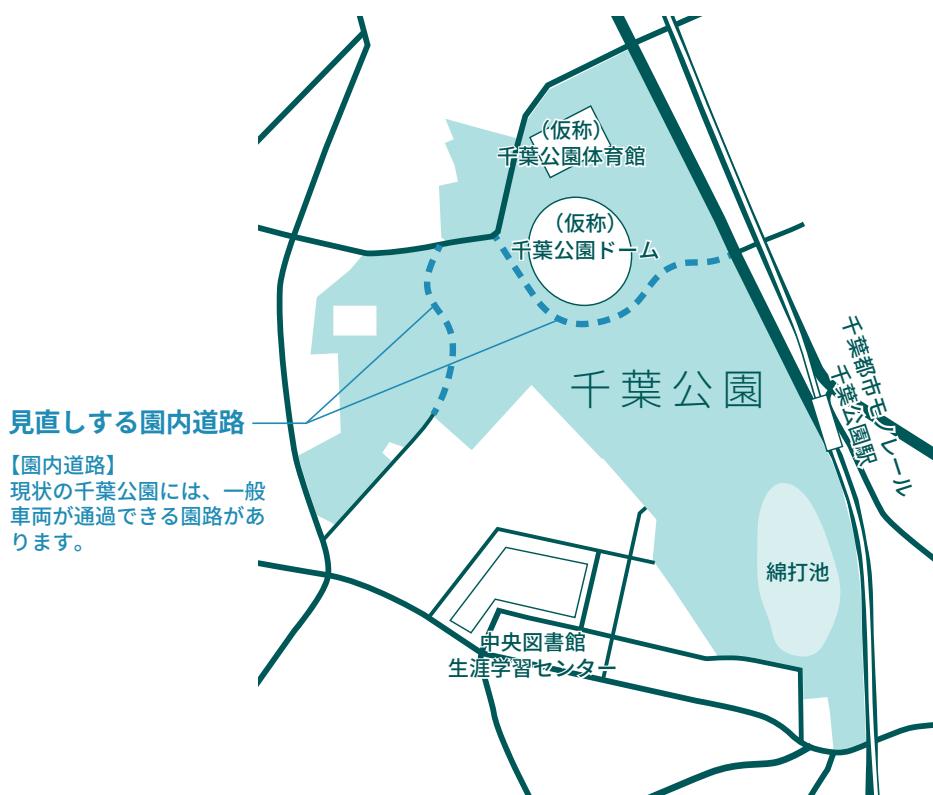
千葉駅から公園へのアクセス性や、千葉駅北エリアの回遊性を向上させるため、歩道照明、誘導サイン、カラー舗装、花や植栽による修景等を整備し、千葉駅から迷うことなく、楽しみながら公園にアクセスできるようにします。



園内道路の見直し

園内道路を見直し、一般車両の通過交通を一部廃止して、利用者が安心して利用できる園路や広場として整備します。

地域の
回遊性
・連携



見直しする園内道路

管理運営

みんながつくり育てる公園



民間のノウハウ活用

民間の資金やノウハウを積極的に活用し、「憩い」や「賑わい」の拠点となる施設を導入します。

管理
運営



パークセンター(イメージ)



夜間も賑わうカフェ(イメージ)

管理運営の仕組みづくり

地域住民や公園利用者が、公園の管理運営に参加できる仕組みづくりや場づくりを行います。
ハスの手入れ、花づくりといった公園の管理ボランティア経験を通して、活動に係わる公園ファンを増やし、地域ぐるみでの公園魅力アップの活動を推進します。

管理
運営



市民による花の管理(イメージ)



ハスの保全育成

多様な主体との連携・協働例

管理
運営

図書館と公園の連携

- ・蓮華亭やカフェ、パークセンターの一部に出張図書コーナー等を設け、芝生広場、休憩デッキ、カフェなど、園内の好きな空間で読書できるようにする。
- ・公園に関連する、スポーツ、健康、花、植物などに特化した図書に絞り、親和性を高める。
- ・「青空図書館」や「不用図書・雑誌の無償配布会」などのイベントを開催。



スポーツ施設と公園の連携



- ・(仮称)千葉公園ドームと連携したサイクリイベントの開催。
- ・広場、プール、ドーム、体育館など園内全体を使ったスポーツ大会の開催。



商店街、駅周辺商業施設と公園の連携

- ・飲食店のテイクアウトメニューの充実や、公園イベントへの出店、公園資源とコラボ商品の開発など、商店街、駅周辺商業施設と公園利用が連動するような仕組みづくり。
- ・公園の利用や周辺回遊に応じた、特典の提供など、健康とエリア回遊を促進する仕組みづくり。



近隣学校と公園の連携

- ・近隣の小中学校や保育園・幼稚園を対象に、花壇づくりのイベント等を開催。
- ・子どもたちと公園の関わりをつくることで、公園への愛着や誇りを醸成。

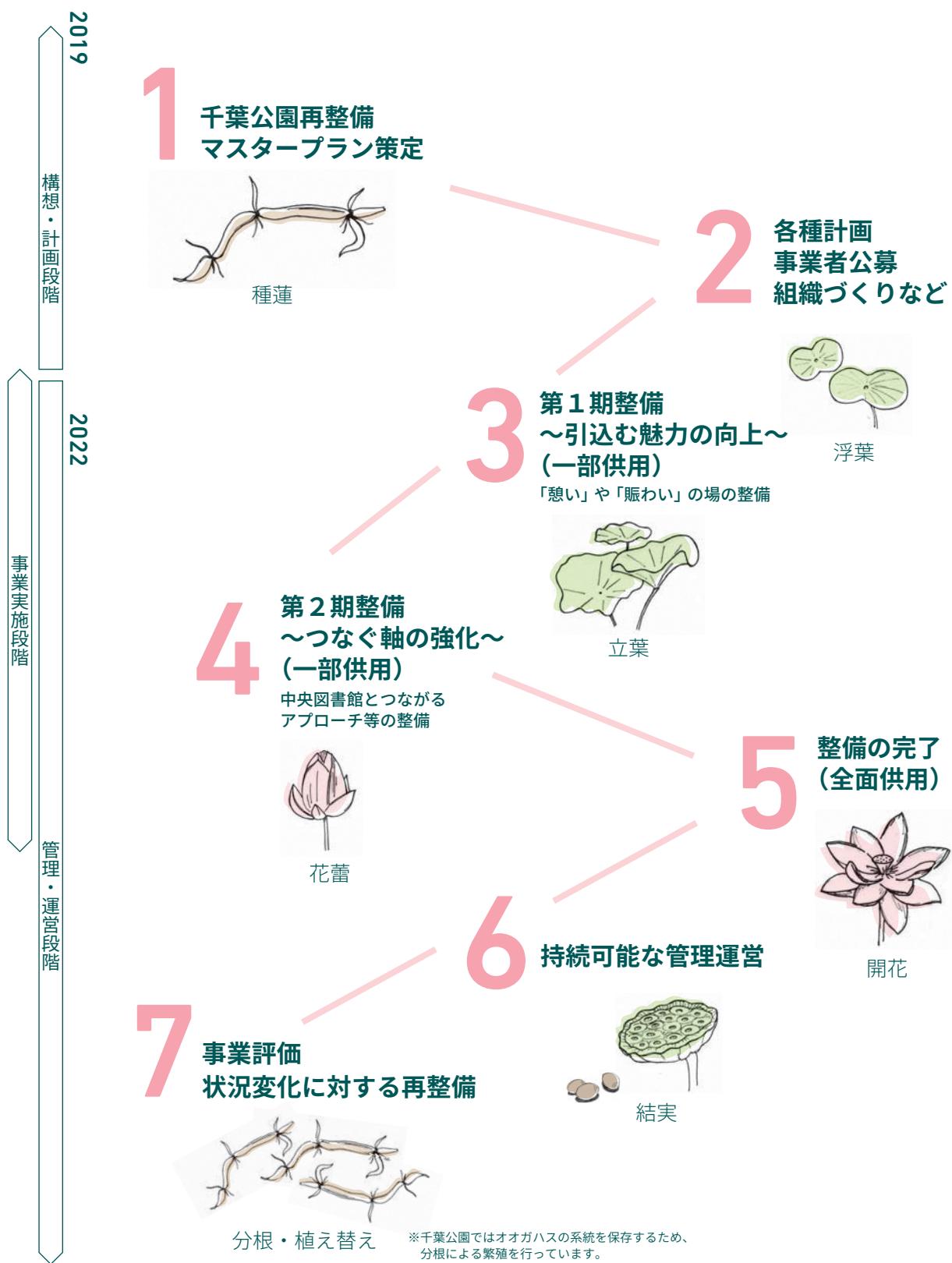
ボランティアと公園の連携

- ・ボランティア団体の高齢化にも対応した、市民（定年後や学童保育を卒業した小学生等）のボランティア活動への参加の仕組みづくり。



再整備の進行イメージ

オオガハスが成長するように、段階的に整備を行っていきます





千葉市
都市局公園緑地部緑政課